

田園自然再生シンポジウム について

趣 旨： 農業・農村のもつ多面的機能を十分に発揮するためには、地域住民、NPO、水土里ネット等地域の多様な主体が参加した、地域主導の自然環境保全・再生に向けた取組みを積極的に支援する必要がある。

このため、農林水産省と（社）農村環境整備センターでは、農業生産との共生を図りつつ、農村地域の二次的自然環境の保全・再生活動を行っている優良事例について表彰する「田園自然再生活動コンクール」を実施するとともに、自然と共生した農村づくりの普及・啓発を目的として、これらの優良事例を紹介しながら、「自然と共生した農村づくり」について議論するシンポジウムを行うこととする。

なお、本シンポジウムの中で、「田園自然再生活動コンクール」入賞事例の表彰式もあわせて行う。

主 催：農林水産省、社団法人農村環境整備センター

共 催：環境省、（財）日本グラウンドワーク協会、都市と農山漁村の共生・対流推進会議

後 援：全国水土里ネット、（財）都市農山漁村交流活性化機構、（財）自然環境研究センター、（財）日本生態系協会、（社）農業農村工学会
（社）日本造園学会、朝日新聞社、日本農業新聞

日 時：平成20年1月11日（金）～12日（土）

11日 12:00 開場 13:00～16:00

12日 9:00 開場 10:00～15:00

会 場：11日 国立オリンピック記念青少年総合センター
カルチャー棟 小ホール
（東京都渋谷区代々木神園町3番1号）

12日 国立オリンピック記念青少年総合センター
AM：センター棟417
PM：センター棟101
（東京都渋谷区代々木神園町3番1号）

参加費：無料 ※参加を希望される方は事前にお申し込み下さい。
（12/26 締切り）

<問い合わせ先>

（社）農村環境整備センター内 田園自然再生支援センター（澤田・加納・坪井）

TEL：03-5645-3671 FAX：03-5645-3675

E-mail：shizensaisei@acres.jp URL：http://www.acres.or.jp

田園自然再生シンポジウムプログラム

1日目 【平成20年1月11日（金）】

- 12:00～13:00 受付
- 13:00～13:05 開会
・(社)農村環境整備センター
- 13:05～13:10 挨拶
・農林水産省
- 13:10～14:00 「田園自然再生活動コンクール」表彰式
・審査経過報告 審査委員長 進士 五十八（東京農業大学教授）
・授与式
- 14:00～14:30 休憩
- 14:30～14:45 「田園自然再生活動コンクール」5年間の歩み
- 14:45～15:50 座談会「田園自然再生活動を育てる」
・出演者：藤井 伸一（NPO 法人グラウンドワーク西鬼怒）
延安 勇（田んぼネット／源五郎米研究会）
守山 弘（東京農業大学客員教授）
・聞き手：進士 五十八
- 16:00 閉会

2日目 【平成20年1月12日（土）】

- 9:00～10:00 受付
- 10:00～10:05 挨拶
- 10:05～11:40 第1部 10代の田園自然再生活動！
司会：浜本 奈鼓（NPO 法人くすの木自然館専務理事）
報告団体：新田プロジェクトE
千葉県立茂原樟陽高等学校 農業土木部
- 11:40～13:00 休憩
- 13:00～14:50 第2部 田園自然再生活動の広がり、高まりに向けて
司会：守山 弘
コメンター：浜本 奈鼓
出演団体：第1回田園自然再生活動コンクール受賞団体
第5回田園自然再生活動コンクール受賞団体
- 14:50 挨拶
- 15:00 閉会

1 日目

■「田園自然再生活動コンクール」5年間の総括

これまでの応募状況（第1回～第4回）からみる田園自然再生活動の現状について報告します。また、過去4回のコンクールの受賞団体について、受賞後の活動状況や地域への波及効果等を紹介します。

■座談会 「田園自然再生活動を育てる」

第1回目のコンクールから5年、当時の受賞団体はその後の活動をどのように発展させているのでしょうか。

今回は、ユニークに活動を深め、あるいは広げながら継続している第1回コンクール受賞団体から2名の方をお迎えし、コンクール審査委員も交えながら、活動発展の経緯等についてお聞きします。さらに、田園自然再生活動の土台となる、農、環境、食、地域、人の輪などについての現場の思いもじっくり語っていただきます。

<出演者>

藤井 伸一 NPO 法人グラウンドワーク西鬼怒 [第1回コンクール「農村振興局長賞」受賞]

延安 勇 田んぼネット／源五郎米研究会 [第1回コンクール「子どもと生きもの賞」受賞]

守山 弘 東京農業大学客員教授 [本コンクール審査委員]

<聞き手>

進士五十八 東京農業大学教授（前学長）[本コンクール審査委員長]

第1回コンクールで「農村振興局長賞」を受賞した「NPO 法人グラウンドワーク西鬼怒」は、当初、地域の清掃活動や水辺の生態系や環境を守る活動を主としていましたが、生態系の保全・再生にウエイトを置き、分科会を立ち上げて里山の生態系の頂点に位置するフクロウの保全活動に取り組み始めました。同じく第1回コンクールで「子どもと生きもの賞」を受賞した「田んぼネット／源五郎米研究会」では、他団体との連携・交流を充実させ、生きものの保全にも配慮した農業生産活動の広がりを図っています。

2 日目

■第1部 10代の田園自然再生活動！

シンポジウム5回目にして、はじめて小学生、中学生、高校生、大学生が勢揃いします。

若い世代の、地域や自然再生に対する思いを聞く機会は意外と少ないのでは？

今回の受賞団体の中から、小・中学生、そして、高校・大学生が主体的に関わっているふたつの団体の活動報告のあと、会場を含めて意見交換をします。

田園自然再生のこれからについて大人も子どもも一緒になって考えてみましょう。

<司 会>

浜本 奈鼓 NPO 法人環境教育事務所くすの木自然館専務理事 [本コンクール審査委員]

<報告団体>

- ・新田プロジェクトE [第5回コンクール「子どもと生きもの賞」受賞]
- ・千葉県立茂原樟陽高等学校 農業土木部 [第5回コンクール「谷津田で青春賞」受賞]

■第2部 田園自然再生活動の広がり、高まりに向けて

こちらは第1回および第5回のコンクール受賞団体が勢揃いする大討論会です。

とくに「田園自然再生活動と地域経済をどう結びつけていくのか」、「活動の中で都市部の人たちとどうつながっていくのか」等にフォーカスし、各団体の取組みから、活動が地域にしっかりと根を張り発展していくようにコーディネートするためのアイデアやヒントを見つきたいと思います。

フロアからの発言も大歓迎、どうぞ積極的にご参加ください。

<司会・コーディネーター>

守山 弘 東京農業大学客員教授 [本コンクール審査委員]

<コメンテーター>

浜本 奈鼓 NPO 法人環境教育事務所くすの木自然館専務理事 [本コンクール審査委員]

<参加団体>

○第1回コンクール受賞団体（※参加調整中）

- ・コウノトリ市民研究所／豊岡市祥雲寺区 兵庫県豊岡市
- ・NPO 法人グラウンドワーク西鬼怒（西鬼怒の川に親しむ会 *受賞時名称）
栃木県宇都宮市（旧 河内町）
- ・耳納塾・おたから堀の会 福岡県久留米市（旧 田主丸町）
- ・環境稲作研究会 福岡県前原市

- ・ 田んぼネット／御調町源五郎米研究会 広島県尾道市（旧 御調町）
- ・ 里山まるごと体験学校 福島県鮫川村
- ・ 細越ホテルの里の会 青森県青森市
- ・ 鎌倉中央公園を育てる市民の会 （山崎の谷戸を愛する会 *受賞時名称）
神奈川県鎌倉市

○第5回コンクール受賞団体

- ・ 水辺と生き物を守る農家と市民の会 福井県越前市
- ・ 八ツ面川朝日堰流域水路管理組合 山形県遊佐町
- ・ NPO法人グラウンドワーク西鬼怒・フクロウ営巣ネットワークプロジェクト
栃木県宇都宮市
- ・ 白王里山再生プロジェクト 滋賀県近江八幡市
- ・ 新田プロジェクトE 兵庫県豊岡市
- ・ ひろさき環境パートナーシップ21 青森県弘前市
- ・ ヒョウモンモドキ保護の会 広島県三原市、東広島市、世羅町、北
広島町
- ・ 千葉県立茂原樟陽高等学校農業土木部 千葉県一宮町

《 田園自然再生シンポジウム 開催場所のご案内 》

1日目

日 時:平成20年1月11日(金) 開場 12:00 開演 13:00~17:00

場 所:国立オリンピック記念青少年総合センター (東京都渋谷区代々木神園町3番1号)

カルチャー棟 小ホール

2日目

日 時:平成20年1月12日(土) 開場 9:00 開演 10:00~15:00

場 所:国立オリンピック記念青少年総合センター (東京都渋谷区代々木神園町3番1号)

AM:センター棟417

PM:センター棟101



<交通案内>

- 小田急線 参宮橋駅下車 徒歩約7分
- 地下鉄千代田線 代々木公園駅下車 (代々木公園方面4番出口) 徒歩約10分
- 京王バス 新宿駅西口(16番)より 代々木5丁目下車
渋谷駅西口(14番)より 代々木5丁目下車

